



ひな い 12月

発行/大館市立比内公民館 大館市比内町扇田字庚申袋8 Tel 43-7141 fax 55-3652

第50回比内町芸術文化祭

ステージ発表

半世紀の節目を迎えた比内芸術文化祭には、13団体のステージ発表、展示部門には、25団体と多くの個人からの出展をいただき、無事盛会裏に終えることができました。

また、地域の婦人会、商工会婦人部のご協力により、食堂を開設いただき、大変ご好評をいただきました。皆様のご協力に、あらためて感謝申し上げます。



野球、長岐家、そして比内町

～ 支えてくれた皆様へ感謝の気持ちを込めて～

中田氏は、自らも青春時代を野球に没頭し、仲間や指導者など、その後の人生に大きな影響を与えてくれた人間関係を構築できた。教員になってからは野球の指導者として子供たちを育成し、県北に赴任した際には、比内中学校出身の子供たちを指導し、今も交流があるという。

現在は、北秋田市の七日市に在住し、当地の文化財「長岐家住宅」と比内町の「長岐家武家門」に着目。ひも解いてみると、両方の長岐家には深い関係があり、七日市から比内町に定着した一族がいた模様である。

あらためて考えると、自分は比内町にも大きな縁があるのを感じることができた。野球が人生の大きなよりどころであり、自分を支えてくれた恩師や友人、子供たちや地域社会の方々を考えると、感謝の言葉があふれる。



県立大館桂桜高校
校長 中田 善英 氏

芸術文化章・感謝状授与

記念式典

記念講演終了後、比内芸文協創立 50 周年記念式典が開かれました。神成会長のあいさつに続き、今年度の芸術文化章が 2 名の方に贈られました。出島雄蔵さん（故人）は、平成 22 年から 12 年間にわたり会長を務め、多大な貢献をされました。また、館下昇悦さんは、短歌会発足当時から入会し、短歌の普及に尽力されると共に、芸文協の役員を長年務められました。

50 周年記念として、長年にわたり芸文協の運営に尽力された 6 名の個人（代表菅原和子氏）と、機関紙「芸林比内」の発行に協賛いただいた 50 の事業所、寺院等（代表扇建設株式会社）に感謝状が贈呈されました。

最後に佐々木麻紀子氏のピアノ祝賀演奏で締めくくり、みんなで 50 年の節目をお祝いしました。



比内町芸術文化協会
会長 神成 幸忠 氏

募集中!

新春書きぞめ会

日時：令和 7 年 1 月 7 日（火）
9:30～11:30

場所：比内公民館 第 9 研修室

定員：小・中学生 30 人
高校生以上 30 人
（いずれも先着順）

内容：小・中学生は条幅に
高校生以上は色紙大の杉板に
好きな一字を書く

参加費：小・中学生は無料
高校生以上は 200 円
（杉の色板の材料代）

持ち物：書道道具一式、ふきん、
条幅下敷き（新聞でも可）

編集後記：師走を迎える前に、すでに身の回りがあわただしくなり、あれこれやらなければならぬことが……。焦ります。一日 20 時間くらいになってませんか？（若）

あおぞら学園教養講座

孫育て講座

現代と昔の子育て事情を具体的に、かつ楽しく教えていただきました。今のお母さんたちは、スマホで最新情報をチェックし、必死に子育てをしている。すぐに孫に向かわずに、こんな少子高齢化の時代に子供を産んでくれたお母さんを労い、尊重することが大事。まずは信頼関係を築き、不安なお母さんを安心させることができる、そんな応援団であってほしい。血がつながっているからと、孫に猛進してはいけない。



助産院イスキア
院長 菅原 光子 氏